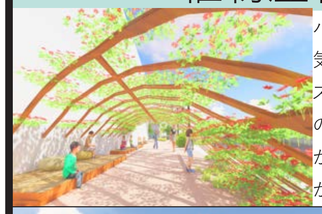
商業施設造園設計図

公共と商業の境界が曖昧になる広場
自然で繋がる

植物屋根



バラのトンネルの下に気楽に座り、横になれるスペースを設ける。植物のカーテンで、駐車場から見れないため、静かで、ゆっくりくできる。

スーパと大規模店舗の間は、通る人が多いため、通路は広くし、通路の両側にベンチを設ける。買い物が疲れる際に、休憩できる。

大規模店舗の2つの入り口の間を繋ぐ植物の根の下に、壁にも植物、花を設け、ベンチなどを置くことで、溜まり場を提案する。

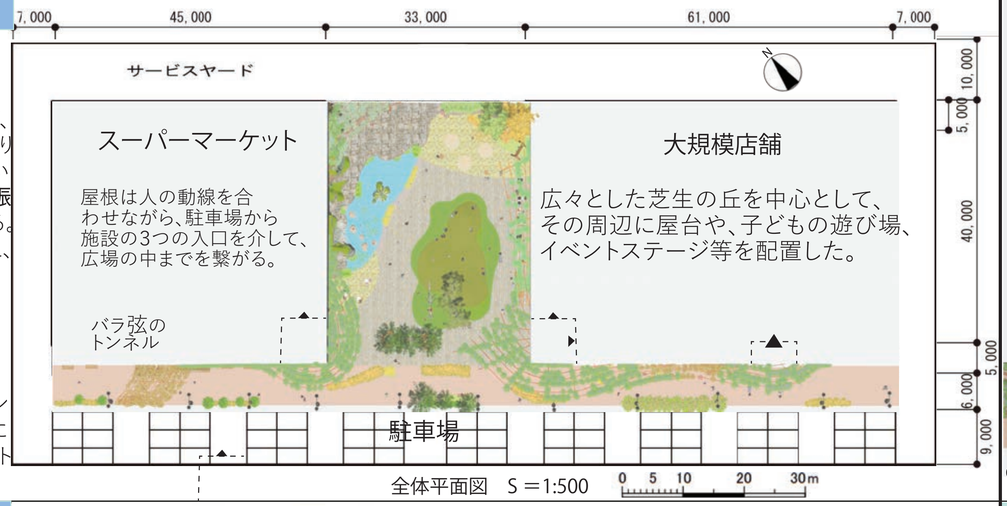
設計主旨

ショッピングモールなどの大型商業施設の**利用者**は、ただ**買い物**だけではなく、この時間を**楽しみたい**という目的がある。

また、施設の**滞在時間**が長ければ長いほど、**購入量**も増えるというデータがある。それにより**物を買わない利用者**に対しても、快適に楽しい時間を過ごす空間を提供することで、施設に**賑わい**を生む重要なポイントであると考えられる。

それにより、広場は、一般の休憩機能に加え、ワークショップやイベントなどの**公共施設**に類似したサービスが設けられることで、物を買わない利用者や地域の人も呼び込めると考える。

そこで、私は**多様な利用者を対象とし、自然要素で**、人と人を結び、コミュニケーション作りができる空間を計画する。その休憩空間に加え、立ち寄りカフェやワークショップ、イベント等のアクティビティができる空間も設ける。



全体平面図　S＝1:500

拡大平面図
S＝1:200

ダイヤグラム

	従来の要素		提案の要素
機能	商業 販売	><<	公共 イベント、教育…
	休憩	><<	アクティビティ
利用者	物を買う人	><<	物を買わない人

自然要素
水、石、植物など
つる系の植物（植物屋根）

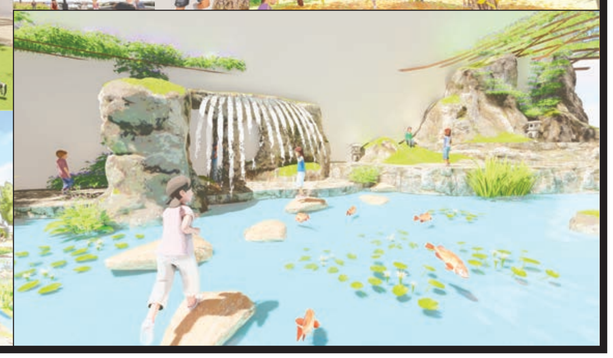
繋ぐ
都市の中にありながら自然に触れる

イベントステージ

岩の上はステージにし、イベントの際に活用でき、
日常は子供の遊び場として使われ、岩に上ったり、走り回ったりする

多目的広場

・中央にある芝生：
休憩、飲食、イベント観覧、運動等…
・パラソル、椅子やテーブル：
日除けができ、自然の中で親子がワークショップに参加できる。

子供の遊び道具は設けず、岩や水、木などの自然要素を配置し、自然の中で遊べる空間を創る。
親はテーブル、ベンチ、芝生で休憩しながら、子供を見守れる。

子供の遊び場